

霜月(しもつき)



11月は、3のつく日がお休みです。3日(金)文化の日、13日(月)茨城県民の日、23日(木)勤労感謝の日。

普段、勉強を頑張っている分、連休を使ってリフレッシュできるといいですね。お家の方も同様です。家族でのんびり過ごす時間を持ちたいものです。

避難訓練 10月24日(火)

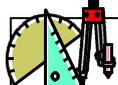
不審者対応の避難訓練を行いました。牛久警察署の方を講師にして、ランドセルをつかまれたらどうするか?原田先生がモデルとなって教えてもらいました。

どんなお話があったか、お子さんに聞いてみてください。



こんな授業を続けています!

前回までにお伝えした、学習指導要領の考え方などを基にして、本校では、『本郷小授業スタイル』と名付けた授業の進め方に全ての学級(先生)が取り組んでいます。



	授業の進め方
1 授業の始まり(導入時)	【学習課題を工夫する】子供たちが「面白そうだ。」「なぜだろう。」と考えたくなる・解いてみたくなる学習課題にする。
2 授業の流れ(展開時)	【子供同士が関わり合う時間を作る】子供たち同士が関わり合い、ペアやグループで確認したり話し合ったりする時間を作る。意見の交流を通して、お互いに考えを広めたり深めたりできるようにする。
3 授業のまとめ(終末時)	【振り返る時間を作る】この時間の勉強で何が分かったか、できるようになったか、を子供自身が振り返るようにする。

1時間の授業の進め方を、「学習課題の工夫ー共有ー振り返り」として、昨年度からこのような授業を続けています。

先生の進める授業をじっと受けるだけではなく、友達と関わり合いながら、「これから何を勉強するのか」「今、自分は何の勉強をしているのか」(見通し)「この授業でどんな事が分かったのか、できるようになったのか」(振り返り)を、自分で自覚し、さらにその結果から、「今後、自分はこうしていきたい。」と自分で自分の課題を考えられる様な授業づくり(『**学びの実感のある授業**』づくり)を進めています。これは、学習指導要領で示された授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」を意図したものです。

さらに、授業では、相手意識をもつことを指導しています。話す態度、聴く態度を意識して、安心して発言できる心地よい学級の雰囲気づくりを進めています。

【話す態度】相手を見ながら、相手が分かりやすいように話す。

聞き手をよく見て、声の大きさやハリを意識する。

【聴く態度】話している相手を見て、体を向けたり、うなずいたりする。

「なるほどね」など、相手を認める態度や声のかけ方をする。



以前にお伝えしたように、先生たちは校内で研修を進めて、よりよい、分かりやすい授業に向けて試行錯誤を続けています。どんな授業になっているか授業の様子や学校で学んだことについて、ぜひお子さんとお話ししてみてください。